

■会告

■日本放射光学会第108回評議員会議事録

日時：2015年10月31日（土） 14：00～16：00

場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス 大会議室

出席者：足立伸一，雨宮健太（渉外幹事），雨宮慶幸，石川哲也（会長），太田俊明，尾嶋正治，河田洋，木下豊彦，木村昭夫，木村真一，木村洋昭，小杉信博，繁政英治，辛埴，鈴木基寛，高原淳，谷口雅樹，野村昌治，平井康晴，村上洋一，百生敦，横山利彦，渡辺義夫
吾郷日出夫（編集幹事），藤原明比古（庶務幹事），渡部貴宏（会計幹事）

欠席者：有馬孝尚，稲田康宏，籠島靖，近藤寛，濱広幸，水木純一郎，山本雅貴
矢代航（行事幹事）

事務局：佐藤亜己奈（WORDS），西野三和子（WORDS）

- 0-1. 出席委員の自己紹介および新会長挨拶を行った。
0-2. 評議員の互選により，木村昭夫評議員を本会議の議長に選出した。

〈審議事項〉

1. 2016年度会長活動方針案

10月1日より2016年度事業がスタートしたことを受け，石川会長より，「放射光学会ミッションの再定義」，「高レベルなサイエンスを進める環境作り」，「近未来放射光利用者支援体制の検討」といった活動方針案について説明があり，これを承認した。

2. 2016-2017年度幹事

石川会長より2016-2017年度幹事を下記の通り選出した旨説明があり，これを承認した。

庶務幹事：藤原明比古，行事幹事：矢代航，編集幹事：吾郷日出夫，渉外幹事：雨宮健太，会計幹事：渡部貴宏

3. 2016年度学会組織および事業計画

藤原庶務幹事より2016年度の学会組織（会長，幹事，評議員，各委員会委員）および事業計画について説明があり，これを承認した。

4. 2016年度行事幹事活動方針

矢代行事幹事欠席のため，藤原庶務幹事から年会・合同シンポジウムの開催，若手研究会・基礎講習会の継続など，2016年度行事活動方針について説明があり，これを承認した。

5. 2016年度編集幹事活動方針

吾郷編集幹事より試料環境シリーズの連載，29-5号を目処として特集号の出版，各号適切な記事数を確保するなど，編集活動方針について説明があり，これを承認した。尚，試料環境シリーズの記事は単行本化を考慮し，オンライン会誌では非会員に非公開とする旨の説明があった。

6. 2016年度渉外活動方針

雨宮渉外幹事より他学会に対する情報発信，AOFSSRでのリーダーシップの確保，IUCrのCommission on Synchrotron Radiationとの協調，将来光源計画に向けた学術会議マスタープランへの対応，学会ホームページのアップデート，緊急時における他学会への働きかけ，男女共同参画との連携の検討など，2016年度渉外幹事活動方針について説明があり，これを承認した。

7. 2015年度暫定決算

渡部会計幹事より，2015年度暫定決算および資産負債明細について，若手研究会開催費および税理士顧問料は前年度未清算分が繰り越されているため例年より支出が増えていること，AOFSSR協賛金は年度内に請求がなかったため本年度に繰り越されること，会誌印刷費はこれまで11月号から9月号までを1年分としていたが，会計年度の開始が10月であり，9月号の処理がぎりぎりとなってしまうため，2016年度からは9月号から7月号までを1年分とし，その移行期間として2015年度は5号分の費用となっていることなど説明があり，これを承認した。

8. 2016年度暫定予算

渡部会計幹事より，2016年度暫定予算について，新事務局移行費として150万円を計上したことなど説明があり，これを承認した。尚，特別賛助会員会費収入および会誌広告収入については増収に向けて努力することとした。

9. 第20回学会奨励賞選考結果

石川会長より，学術賞等選考委員会において，今後の放射光科学での広い分野への寄与の可能性に重点を置く方針の下選考を行った結果，下記の2名を第20回学会奨励賞の受賞者として推薦する旨の説明があり，これを承認した。

片山哲夫 会員（高輝度光科学研究センターXFEL利用研究推進室）

「X線自由電子レーザーを利用したフェムト秒X線分光法の開発」

河口智也 会員（京都大学産官学連携本部）

「回折XAFS法の開発とその電池材料解析への応用」

10. 奨励賞内規の改定

出席委員より，奨励賞内規の「受賞対象者は，学会年度の翌年の3月31日に35歳未満である正会員とする。」といった部分について，会計年度の翌年がいつを示すのか不明確であるとの意見があった。これについて検討した結果，「受賞対象者は，募集翌年の3月31日に35歳未満である正会員とする。」とすることが提案され，本日付で改定することを承認した。

11. 第3回功労報賞選考結果

石川会長より，第3回功労報賞の選考結果について，本年度は1名の候補者が推薦されたが，候補者と同様な貢献を

永年に亘って継続している者は多数おり、本年度推薦された候補者を特に選んで報賞を授与することには慎重であるべきとの結論に至った旨、説明があった。また、今回の候補者を含む同様な貢献者に対して、例えば放射光学会30周年記念式典などの機会を捉えて、一括して功労報賞を贈ることを検討してはどうかとの提案があり、選考結果およびこの提案を承認した。尚、募集要項や内規の文面を変更する必要があるのではないかとの意見があり、これについては次回評議員会で変更案を示し審議することとした。

12. 学会賞（本賞）の創設について

現在放射光学会には奨励賞および功労報賞があり、将来放射光科学を担う若手や放射光利用技術・支援を通じた永年の貢献者に対して顕彰してきたが、顕著な貢献をした方々への顕彰、すなわち本賞に相当するものが存在しない。今回、奨励賞、功労報賞の選考基準の考察を機会に顕在化した本賞について、今後、評議員会での議論を経て創設に向けて検討することが石川会長より提案された。審議の結果、これを承認し、今後検討していくこととした。

13. 学会事務局業務委託先について

藤原庶務幹事より、次期事務局候補3社と面談や再見積を行ったことについて説明があった。各社を比較した結果、予算面と内容面から事務局業務を㈱ボラリス・セクレタリーズ・オフィスに委託することが提案され、これを承認した。尚、㈱ボラリス・セクレタリーズ・オフィスは学会誌関連業務を行っていないため、これについては別業者に依頼するなど、今後対応を検討することとした。

14. 会員異動

藤原庶務幹事より、第107回評議員会以降の入会申請者に関して、入会：正会員58名（内学生45名）、シニア会員6名の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員26名（内学生1名）を確認した。

2015年10月31日現在での総会員数は1,334名（内学生131名）、名誉会員6名、シニア会員40名、賛助会員42社（44口）、特別賛助会員11団体（18口）。

また、会費3年間未納のための自動退会者40名を確認した。自動退会者については継続をお願いできそうな会員に一度評議員から働きかけて、次回もう一度審議することとした。

15. 協賛・後援・共催

雨宮渉外幹事より、本学会に対する協賛依頼について報告があり、協賛8件を承認した。

16. 先端光源に関する研究会

第2回先端光源に関する研究会として、「高輝度・高強度赤外光源研究会」への共催を検討していたが、本学会としては本研究会への寄与が極めて希薄であり、これを学会が主催行事とする「先端光源に関する研究会」と位置づけるのは趣旨と異なるため、共催とするものの、「先端光源に関する研究会」とは位置づけず、「先端光源に関する研究会」に関しては別途検討する旨、藤原庶務幹事より説明があり、これを承認した。

〈報告事項〉

1. 2015年度事業報告

藤原庶務幹事より、2015年度事業について報告があった。

2. JSR2016準備状況

藤原庶務幹事より、第29回年会・合同シンポ（JSR2016）準備状況と今後の予定について報告があった。また、第30回年会・合同シンポ（JSR2017）は播磨地区で開催予定との報告があった。

3. 第7回基礎講習会報告

藤原庶務幹事より、2015年9月1日-2日に東京大学柏キャンパスで開催された第7回放射光基礎講習会「初心者のための放射光入門講座」について、参加者数は前回より減少したが、参加費値上げにより収支は改善したこと、ただし上がった参加費に見合うよう、講義の内容を改善してほしい旨の指摘が複数あったことなど、報告があった。

4. 第8回若手研究会報告

藤原庶務幹事より、2015年9月7日-8日に分子科学研究所で開催された第8回若手研究会「軟X線イメージングの描く未来」の参加者数、収支などについて報告があった。

5. 会誌編集状況

吾郷編集幹事より、依頼記事の進捗状況と会誌編集状況（試料環境シリーズ）について報告があった。

6. Cheiron School2015報告

雨宮渉外幹事より、2015年9月10日-19日にSPRING-8で開催されたCheiron School2015について報告があった。

7. AOFSSRR2015報告

雨宮渉外幹事より、AOFSSRR2015が2015年11月25日-27日にオーストラリアで開催される旨の報告があった。

8. その他

藤原庶務幹事より、第106回評議員会審議を経て「共同利用・共同研究拠点活動期末評価に関わる助言」を行なった大阪大学蛋白質研究所より、結果報告があったとの説明があった。

評議員会日程（予定）の確認

第109回評議員会 2016年1月9日（土） 場所：柏の葉カンファレンスセンター

第110回評議員会 2016年4月9日（土） 場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス

第111回評議員会 2016年7月（日にちは未定）

■会員異動

第108回評議員会（2015年10月31日）で承認

《正会員入会》

奥村 英夫 公益財団法人高輝度光科学研究センター タンパク質結晶解析推進室

阿部 善也 東京理科大学 理学部第一部 応用化学科

Shaul Barkan Hitachi High-Technologies Science America, Inc.

古賀 三井 日本タングステン株式会社 基礎技術センター

小林 剛 一般財団法人 電力中央研究所 材料科学研究所

小田島 肇 一般社団法人 東北経済連合会

小田切 丈 上智大学 理工学部 物質生命理工学科
 佐々木拓生 日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究センター
 星野 正光 上智大学理工学部物質生命理工学科
 藤波 想 理化学研究所 放射光科学総合研究センター 可視化物質科学研究グループ
 Munisa Nurmatamat 広島大学理学研究科 物理科学専攻 光物性研究室
 阿部 伸行 東京大学, 大学院新領域創成科学研究科, 物質系専攻, 有馬徳永研究室
 湯川 龍 高エネルギー加速器研究機構, 物質構造科学研究所, 放射光科学第一研究室

以上13名

《学生会員入会》

駒淵 舞 名古屋大学大学院 工学研究科 量子工学専攻 量子ビーム工学講座 量子ビーム物性工学研究グループ
 松澤 智 東北大学金属材料研究所 磁気物理学研究部門 野尻研究室
 池田 啓祐 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻藤森研究室
 大沢冬樹子 群馬大学理工学府理工学専攻電子情報・数理教育プログラム伊藤正久研究室
 竹内 雅耶 兵庫県立大学 工学研究科 材料・放射光工学専攻 高度産業科学技術研究所 光量子システム分野
 漆山 翔 東京理科大学理学研究科齋藤研究室
 榊原 悠太 東北大学多元物質科学研究所電子分子動力学研究室
 安田 周平 大阪大学大学院工学研究科山内研究室
 山添 誠敏 群馬大学理工学府櫻井研究室
 伊藤 俊 東京大学物性研究所松田巖研究室
 大出 真央 慶應義塾大学大学院 理工学研究科 中迫研究室
 中山 充大 東京大学物性研究所辛研究室
 坂本 祥哉 東京大学理学系研究科藤森研究室
 今井 駿 東京理科大学大学院理学研究科応用物理学専攻齋藤研究室
 岡田 璃生 東京大学大学院新領域創成科学科物質系専攻佐々木研究室
 山村 光平 名古屋大学大学院工学研究科 高嶋・伊藤研究室
 中平 夕貴 広島大学理学研究科物理科学専攻構造物性研究室
 上田 大貴 大阪大学大学院 基礎工学研究科 物質創成専攻物性物理工学領域 木村研究室
 荒谷 秀和 大阪大学院 基礎工学研究科 物質創成専攻 物性物理工学領域 関山研究室
 増子 亮平 新潟大学大学院自然科学研究科
 柴田 大輔 京都大学 人間・環境学研究科 相関環境学専攻物質相関論講座 吉田鉄平研究室
 尾地 真典 東京理科大学 理学研究科 樋口研究室
 新堀 智 名古屋大学工学研究科 化学生物工学専攻 生物機能分野 構造工学研究室

原 成植 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 物質系専攻 佐々木研究室
 梅本 大輝 東北大学大学院 工学研究科 知能デバイス材料学専攻 百生研究室
 杉原伸太郎 名古屋大学大学院工学研究科 マテリアル理工学専攻 材料工学コース 高嶋・伊藤研究室
 伊勢川和久 慶應義塾大学理工学研究科表面化学研究室
 河内 章吾 名古屋大学大学院工学研究科 マテリアル理工学専攻 シンクロトロン光応用工学研究グループ 高嶋・伊藤研究室
 山岸 弘奈 立命館大学大学院生命科学研究所無機触媒化学研究室
 後藤 遼平 北海道大学 電子科学研究所 コヒーレント光研究分野
 平尾 将崇 東京理科大学 総合化学研究科 中井研究室
 丸岡 篤史 北海道大学 生命人間情報科学専攻 バイオナノイメージング研究室
 染谷 隆史 東京大学物性研究所 松田研究室
 藤井香奈子 広島大学大学院 理学研究科 物理科学専攻 電子物性研究室
 小島 耀平 広島大学大学院理学研究科物理科学専攻 放射光物性研究室
 梶山 雄貴 立命館大学大学院生命科学研究所
 小野 貴大 東京理科大学理学部応用化学科中井研究室
 天場 千覚 広島大学 大学院理学研究科 電子物性研究室
 永井 浩大 大阪大学基礎工学研究科物質創成専攻
 長山 光 東京大学工学部精密工学科
 萩原 健太 大阪大学理学研究科物理学専攻光物性研究室木村グループ
 亀井 俊 大阪大学大学院生命機能研究科 光物性研究室
 下中 大也 京都大学 人間・環境学研究科 吉田鉄平研究室
 塚越 海渡 立命館大学大学院生命科学研究所 無機触媒化学研究室
 川合 蕉吾 大阪大学工学部応用自然科学科精密科学コース山内研究室

以上45名

《シニア会員入会》

川崎 宏一 新居浜工業高等専門学校 地域連携アドバイザー
 岩見 基弘
 山田 廣成 立命館大学
 寺澤 倫孝 兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所
 山口 直洋 一般財団法人 総合科学研究機構 (CROSS)
 鹿児島誠一 明治大学理工学部物理学科

以上6名

《退会会員》

正会員25名, 学生会員1名

《会員数》

会員1334名 (内学生131名) 名誉会員6名 シニア会員40名
 賛助会員42社 (44口) 特別賛助会員11団体 (18口)

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2016年 2/18	平成27年度関西支部セミナー「ナノシートの最前線」	産総研関西センター 基礎融合材料実験棟 2F 第8会議室	公益社団法人日本表面科学会 E-mail: m-tkzw@fc.ritsumei.ac.jp	29・1
3/15-16	2015年度量子ビームサイエンスフェスタ	つくば国際会議場（エポカルつくば）	高エネルギー加速器研究機構物質構造 科学研究所, J-PARC センター, 総合 科学研究機構 (CROSS), PF-UA, J-PARC/MLF 利用者懇談会 E-mail: imss-festa@pqfst.kek.jp	29・1
6/23-24	2016年 第41回光学シンポジウム「光学システム・光学素子の設計, 製作, 評価を中心として」	東京大学 生産技術研 究所 An 棟 コンベン ションホール	一般社団法人日本光学会 E-mail: optsymp41-spk@myosj.or.jp	29・1

■平成27年度関西支部セミナー「ナノシートの最前線」

より便利でより快適な機能がつくられ続けるエレクトロニクス分野などにおいて, 新たな材料として「ナノシート」が期待されています。ナノシートは, 1原子 (~数原子) サイズの厚みで形成されたシートであり, その作り方やその新たな機能が発見されています。本研究会では, 一線で活躍されている先生方をお招きし, 研究成果や将来展望について議論できるよう企画いたしました。多くの方の積極的な参加をお待ちしています。

主催: 公益社団法人日本表面科学会

協賛: 日本放射光学会, 他

日時: 2016年2月18日 (木)

場所: 産総研関西センター 基礎融合材料実験棟 2F 第8会議室
(大阪府池田市緑丘1-8-31 TEL 072-751-9601)

参加定員: 150名

受講料: 無料

申込締切: 2016年2月17日 (水)

申込方法: URL (<http://www.sssj.org/Kansai/seminar20160218.html>) でお申し込み下さい。(尚, 電子メール, FAX またはハガキでのお申し込みも可能です。その場合, 以下の情報をご記入の上, 下記の申込先までお申し込み下さい。)

- (1) 「平成27年度関西支部セミナー申込」,
- (2) 氏名 (ふりがなをつけて下さい。)
- (3) 勤務先, 所属,
- (4) 住所 (〒付記) TEL/FAX/E-mail

申し込み (問合せ先): 公益社団法人日本表面科学会関西支部
関西支部セミナー担当
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1
立命館大学 理工学部 物理科学科 滝沢 優
TEL: 077-599-4338 FAX: 077-561-2657
E-mail: m-tkzw@fc.ritsumei.ac.jp

■2015年度量子ビームサイエンスフェスタ

KEK 物質構造科学研究所と J-PARC 物質・生命科学実験施設 (MLF) はともに茨城県内にあり直線距離にして60 km 弱と比較的近くに位置しています。両研究所・施設ではその「地の利」を生かし, 放射光, 陽電子, 中性子, ミュオンを, それぞれの特徴を生かした形でより密接に連携させて新しいサイエンスを展開することを目指しています。

量子ビームサイエンスフェスタは, 単に各施設におけるスタッフとユーザーの成果発表の場であるだけでなく, 異なるプローブを用いる研究者間の交流の場です。すなわち, 各々のプローブの専門家が互いに連携するためのサロンであり, 美しい協奏的研究の成果を披露する舞台であり, 競争し刺激を与え合う土俵でもあります。

是非多くの方々に参加していただき, それぞれに新しい量子ビーム科学研究の種を持ち帰っていただければ幸いです。

主催: 高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所, J-PARC センター, 総合科学研究機構 (CROSS), PF-UA, J-PARC/MLF 利用者懇談会

協賛: 日本放射光学会, 他

日時: 2016年3月15日 (火)~16日 (水)

場所: つくば国際会議場 (エポカルつくば)

参加費: 無料

参加申込方法: シンポジウムホームページの参加申込フォームにてお申し込み下さい。旅費, 宿泊を伴わない参加申込は当日まで受け付けますが, なるべく事前に web からお申込みください (web 申込締切: 3月初旬)。

懇親会: 3月15日 (火) つくば国際会議場内にて 会費等詳細は HP にて確認ください。

問合せ先: 量子ビームサイエンスフェスタ事務局 (imss-festa@pqfst.kek.jp)

ホームページ: <http://qbs-festa.kek.jp/2015/>

■2016年 第41回光学シンポジウム

「光学システム・光学素子の設計、製作、評価を中心として」

光学シンポジウムは、光学設計者・技術者の皆様が日頃の研究、開発の成果を発表し、討論する場として、毎年開催されています。次回も下記の要領で第41回光学シンポジウムを開催致します。多数の皆様の積極的な応募をお願い致します。

主催：一般社団法人 日本光学会

協賛：日本放射光学会、他

日時：2016年 6月23日（木）～24日（金）

場所：東京大学 生産技術研究所 An 棟 コンベンションホール
（東京都目黒区駒場 4-6-1）

応募講演の性格および内容：

a) 原則として未発表のものとしします。ただし、既発表のものの一部重複があっても、光学に関わる新規な内容が含まれていれば発表可能です。

b) 内容は、光学システムおよび光学素子の設計、製作、評価に関連した講演を中心として、日本光学会の活動の全分野を対象とします。特に、これに関連した実際的な問題に踏み込んだ講演を歓迎し、また問題提起の講演も認めます。

講演方法および時間：

基本的に口頭講演と致しますが、プログラム編成の都合により、予め連絡の上、ポスターセッションへ変更をお願いする場合があります。

《口頭講演》

発表は20分（質疑応答5分を含む）で、発表形式はPC画面のプロジェクトター投影のみと致します。

応募資格：（一社）日本光学会（個人、賛助、入会予定含む）、応

用物理学会、SPIE、OSA、OSK、EOS、TPS、COS 及び協賛の学協会会員

応募方法：ホームページの講演応募方法をご参照の上、電子メールにてご応募下さい。

光学シンポジウム ホームページ：http://myosj.or.jp/event2/opt_symp

応募には以下の情報が必要となります。

題目、氏名、所属機関名、英文題目、英文氏名、所属機関英文名、アブストラクト（200字以内）、連絡先（郵便番号、住所、氏名、E-mail、電話、FAX）。

申込受付確認のメールを1週間以内に返送します。期限を過ぎてもメールの届かない場合はご連絡下さい。

講演プログラム・アブストラクトは2016年3月下旬に公開する予定です。

応募先：E-mail: optsymp41-spk@myosj.or.jp

光学シンポジウム実行委員会 講演担当 宛

応募締切：2016年3月7日（月）必着

予稿提出：採用した講演については、所定フォーマットのWordもしくはPDF形式の電子ファイルを提出して頂きます。詳細は、後日案内予定の予稿原稿の書き方、ホームページをご参照下さい。

予稿締切：2016年4月18日（月）必着 *最新情報は、光学シンポジウムホームページにてご確認ください。

問合せ先：光学シンポジウムに関する問い合わせは、ホームページ、または下記連絡先をお願いします。

E-mail: optsymp41-aud@myosj.or.jp Tel. 042-660-9371

コニカミノルタ株式会社 光学事業本部 U&C 事業部 開発部 野村英司

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 吾郷日出夫

渉外幹事 雨宮健太

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr291

Password: y6Lki8uk

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、雨宮 (kenta.amemiya@kek.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、吾郷 (ago@spring8.or.jp) までお願いします。